

## 愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子案における関連項目の抜粋

## 1. 基本的な考え方

- 愛知の強みやポテンシャルを生かし、また、課題を克服しながら、バランスのある愛知の発展をめざしていく。そして、東京一極集中の是正を図るとともに、日本の活力を取り戻す大きな核としての役割を果たしていく。

## 2. 重視すべき視点

## 《視点4》活力ある地域をつくり、バランスある発展をめざす

- 今後、人口減少や高齢化が進む中であっても、都市機能を維持し、地域社会を持続可能なものとしていくためには、地域における連携の取組が重要である。そのため、都市機能の集約化等を進めるとともに、中心都市と周辺地域との連携強化を図り、圏域一体となった発展をめざしていくことが重要である。
- また、県内の各地域には、例えば、外国人集住地域における生活・教育環境の問題や、高齢化が進む大規模住宅団地などにおける医療・介護サービスの提供、地域コミュニティの希薄化に伴う防災面の対応など、地域特有の様々な課題があることから、そうした課題に対する地域の取組を支援していくことも重要となる。

## 3. 基本目標と施策

## 《基本目標③》人の流れづくり

次世代の成長分野など魅力ある企業の集積や大学の活性化を図ることなどにより、若年者を中心とした東京圏への人口流出の流れに歯止めをかけるとともに、国内外から愛知に人を呼び込む流れをつくる。

## [基本的方向]

- 「産業空洞化対策減税基金」などの立地優遇策を活用した企業誘致活動などにより、産業立地を図るとともに、産学官連携の強化による大学の活性化を図るなど、若者を呼び込み、定着させるための基盤をつくる。

## [具体的な施策]

## (2) 大学等の活性化

## ①産学官連携の強化

競争的研究資金や受託研究等の外部資金の積極的な活用を図るとともに、大学、企業、行政との共同研究等を積極的に推進する。また、芸術・文化、教育、環境、防災、医療・福祉、産業、農林水産業、まちづくりなど多岐にわたる分野で大学との連携を推進し、大学の持つ力を地域づくりの課題解決に結び付けていくとともに、大学の活性化を図る。

## 《基本目標⑥》活力ある地域づくり

地域資源を生かした個性や魅力にあふれる地域をつくるとともに、県内主要都市の機能集積や周辺地域との連携を図ることなどにより、各地域が活力を維持し、県内のバランスある発展を実現する。

## [基本的方向]

- 各地域における都市機能の集約化や、周辺地域との連携強化を図るとともに、ICTの利活用や再生可能エネルギーの利用促進などにより、持続可能で活力あるまちづくりを進める。

## [具体的な施策]

## (3) 持続可能で活力あるまちづくり

## ①集約型まちづくりの推進

持続可能な集約型のまちづくりを進めるため、都市部では、主要駅周辺の中心市街地や生活拠点となる地区などに業務・商業、医療・福祉等の都市機能を集積するとともに、快適な歩行空間の整備を進めるなど、都市の再構築を進めていく。

## ②商店街の活性化

「地域コミュニティの担い手」である商店街の活性化を図るため、市町村が計画的・主体的に行う商店街活性化の取組及び商店街が自主的に取組む商業活動事業を支援するとともに、商店街と地域住民や大学など多様な主体との連携による取組を促進する。

また、中心市街地の活性化を図るため、市町村が行う「中心市街地活性化基本計画」策定に対する支援を行う。